

【お知らせ】 防災計画セミナーの開催について

昨年度までは演習形式の避難計算演習半日セミナーを(初級編)(中級編)として開催いたしました。セミナー後のアンケートにおいて「防災計画の基礎的な考え方を習得したい」とのお声があったことを踏まえ、今年度は「防災計画セミナー (仮題)防災計画の考え方と基礎知識」と題し、大学の先生方によるご講演を主としたセミナーの開催を計画しております。

【開催概要】

○開催日時：12月上旬ごろ

○内容(予定)：

防災計画の基本的考え方

用途別防火・避難計画

防災分野の審査のポイント等

大学教授
による講演

GBRC職員
による講演

○開催方法：web形式or集合形式

(新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて検討中)



詳細が決まり次第、当法人のHPやメルマガ臨時便で開催のご案内をいたします。防災計画の基本に立ち返る内容から最新情報までを含めたセミナーを予定していますので、初心者から経験豊富な方まで奮ってのご参加をお待ちしております。

【ご紹介】小規模共同住宅委員会(防災評定)に関する出張説明について

今年度から新たに開始した「小規模共同住宅委員会(防災評定)」の周知・宣伝の一環として、小規模共同住宅委員会で審査することのメリットやスケジュールについてまとめたパンフレットを、7月初旬に本メールマガジン登録者様(防災評定担当者様)へ郵送しました(次頁に同内容を掲載)。また、当方の技術職員が貴社へ出向いて直接、ご説明を行う「出張説明」も7月より開始しましたので、ご興味がありましたらお気軽にご連絡ください。

出張説明

随時受付中

○直接、貴社へお伺いします！！

○小規模共同住宅委員会について、より詳しくご説明します！！

○個別案件のご質問なども、承ります！！

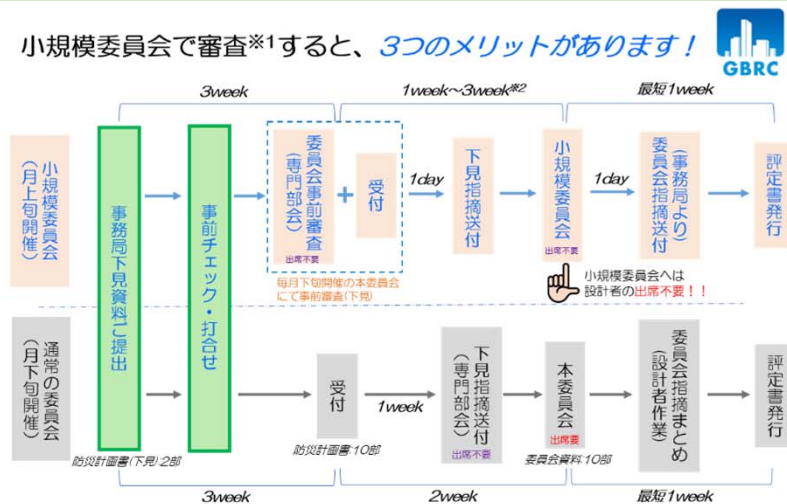
パンフレットに書ききれなかった詳細な審議条件についてもご説明します！

ルートC(避難・耐火性能評価)についても、ご相談ください！



【ご紹介】小規模共同住宅委員会パンフレット※について

小規模委員会で審査※1すると、3つのメリットがあります！



- ※1：小規模委員会で審査対象とする条件
- ①主要用途が共同住宅であること（民泊は除く）
 - ②小規模な物件であること
 - ③避難経路の安全性が十分に確保された計画であること
 - ④消防活動に配慮された計画であること
- （より詳細な条件については、事務局までご相談ください。）

※2：毎月の委員会日程が異なるため、この期間は月によって変動します。

■小規模委員会審査のメリット

①評定委員会の審査チャンスが増えます(月2回)！！

小規模な共同住宅に限り、小規模委員会と本委員会のどちらでも審査が可能となります。

②申請スケジュールが調整しやすくなりました！！

③設計者の委員会出席が不要に！！

小規模委員会では、設計者の出席が不要となります。

④委員会出席の手間が省けてラクチンに！！

⑤審査資料は全てペーパーレス化！！

本委員会の審査資料は紙資料10部が必要ですが、小規模委員会ではデータ送付のみでOKとなります。

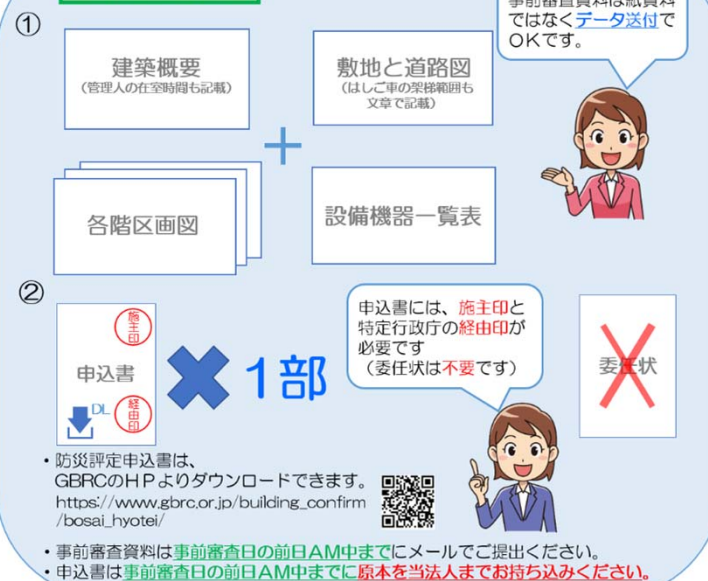
⑥紙資料の印刷を省力化！！

事前審査・小規模委員会の必要資料は、メールで送付ください。

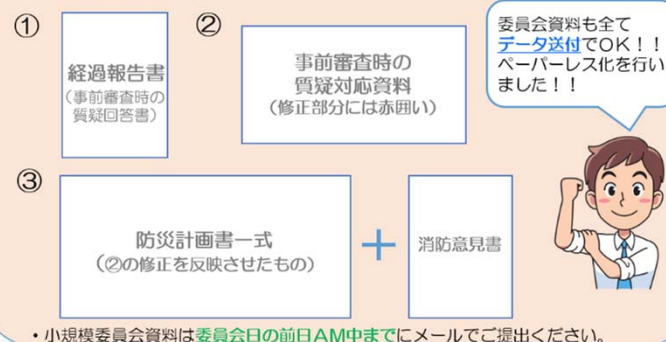
※必要資料の詳細は右面に記載

■小規模委員会に必要な提出資料

事前審査（受付）時



小規模委員会時



※2020年7月に郵送しましたパンフレットと同内容となっています。

【避難計算解説 vol.3】 居室避難計算時の注意点①（居室許容避難時間）

防災計画評価時に必要となる避難計算について説明する避難計算解説シリーズ。Vol.3では居室許容避難時間を求める際の注意点についてご説明します。

Vol.1にて紹介しました居室避難時間の限界を示す居室許容避難時間ですが、これは煙が部屋全体に広がって居室内に人がいられなくなる時間を簡易的に求めています。そのため十分な煙溜まりが確保できるという想定のもと、天井高さ6mを境界に計算式(係数)が下記のとおり変わります。大講堂や劇場など、高い天井のある室を計画される際にはご留意頂けますと幸いです。

• 居室避難時間 T_1 (秒)

$\leq$

• 居室許容避難時間 rT_1 (秒)

$$rT_1 = \text{MAX}(\alpha\sqrt{A_1}, 30)$$

A_1 ; 居室面積 (㎡)

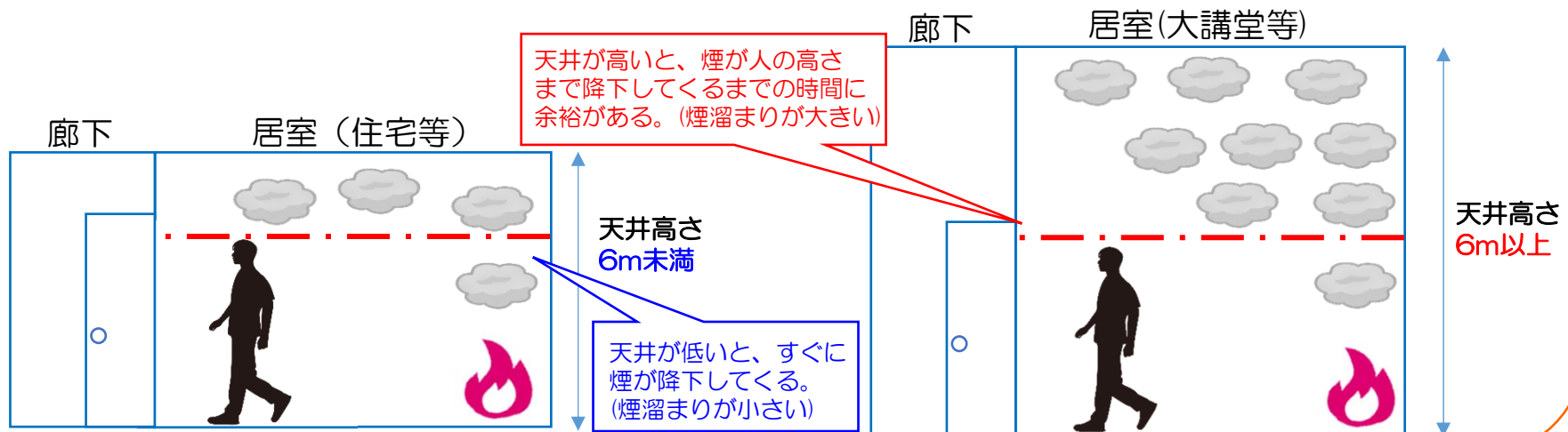
α ; 天井高さ6m未満では2
天井高さ6m以上では3

• 天井高さ6m未満の室の場合

$$rT_1 = \text{MAX}(2\sqrt{A_1}, 30)$$

• 天井高さ6m以上の室の場合

$$rT_1 = \text{MAX}(3\sqrt{A_1}, 30)$$



【お知らせ】 大臣認定番号の記載変更について

昨年度の法改正に伴い、今年度から建築物の認定番号の記載方法が変更となりました。(認定コード:4文字⇒**英7文字**)

①②③④⑤⑥⑦ — **** — *

認定コード(英7文字) 建築物認定の通算番号 (5桁の数字) 変更番号

【認定コード】

- ①構造計算(時刻歴)
- ②主要構造物の耐火性能 (F:該当、N:非該当)
- ③防火設備(防火区画)
- ④避難安全性能 (B:全館避難、F:階避難、N:非該当)
- ⑤大規模の建築物の主要構造部等
- ⑥耐火建築物等としなければならない特殊建築物
- ⑦防火地域及び準防火地域内の建築物

今年度より
コード追加

(例) 耐火性能と全館安全避難性能の大臣認定を取得した場合
(変更申請2回目)

NFNBNNN — ○○○○○ — 2

詳細は国土交通省のHPをご確認ください (<https://www.mlit.go.jp/common/001069848.pdf>)

【編集後記】

梅雨の影響で少し肌寒かった7月とは打って変わり、8月に入ってから気温が連日35℃近くまで一気に上昇しており、なかなか身体が季節に付いていけていません。特に今年は新型コロナウイルス対策でマスクの着用が必須となりますので、身体が大きく普段でも呼吸量の多い私にとっては、文字通り息苦しい季節であり通勤だけでも一苦労です。
さて本号にて避難・防災Gで毎年開催している防災計画セミナーについて紹介しましたが、現状では新型コロナウイルス収束の目的がたっていないため、正直なところweb形式開催なのか集合形式開催なのか当方でも決めかねています。また社会情勢を見極めながら皆様の安全に配慮した形式での開催を計画しますので、奮ってのご参加をお待ちしております(詳細が決まれば、秋ごろにHPやメルマガ臨時便などの形でご連絡します)。

【ご紹介】委員会スケジュールについて

今後の委員会日程は下記のとおりです。HPにも掲載しております。
(https://www.gbrc.or.jp/building_confirm/committee/)

		9月	10月	11月
防災計画 認定委員会	小規模共同 住宅委員会	7	5	9
	本委員会	18	22	未定
		9月	10月	11月
避難・耐火性能評価 委員会		25	23	27

(※2020/8/28現在)

【お知らせ】申請者等変更手続きについて

防災認定や性能評価の受付から、防災計画認定書・大臣認定書取得までの間に、会社名、代表者名、所在地等に変更が生じた場合は、変更届の提出が必要です。

変更が生じましたら早急に下記担当者までお知らせ下さい。



発行者: 一般財団法人 日本建築総合試験所
建築確認認定センター 性能認定課 避難・防災グループ
担当: 中野、長野
TEL: 06(6966)7600 FAX: 06(6966)7680
E-mail: seinou4@gbrc.or.jp